

令和2年3月31日(水)

国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所
独立行政法人水資源機構沼田総合管理所(矢木沢ダム、
奈良俣ダム)、下久保ダム管理所、草木ダム管理所

記者発表資料

利根川上流の7つのダムが満水になりました

首都圏の1都5県(東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県)の水源となっている利根川上流9ダムの下久保ダムが3月31日満水になりました。

これまでに、6ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、藺原ダム、草木ダム)が満水となっており、利根川上流の7ダムが満水となりました。

上記の7ダムに、八ッ場ダムおよび渡良瀬貯水池を含めた、利根川上流9ダムの3月31日0時時点の合計貯水量は4億6,610万 m^3 (85%)となっています。

利根川上流9ダムでは、今後の水需要増大に向けた用水補給に備え、引き続き関係機関と連携しつつ、きめ細かいダム運用に努めてまいります。

今後の降雨状況によっては、貯水量が減少する可能性もあることから、引き続き節水にご理解、ご協力をお願いします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ
藤岡記者クラブ、桐生記者クラブ、沼田記者クラブ

問い合わせ先

○国土交通省関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所 電話 027-251-2021(代表)

副所長(技術) 飯野 勝博 広域水管理課長 田島 貴光

○独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所 電話 0278-24-5711(代表)

(矢木沢ダム、奈良俣ダム)管理課長 小林 昌運

下久保ダム管理所 電話 0274-52-2746(代表)

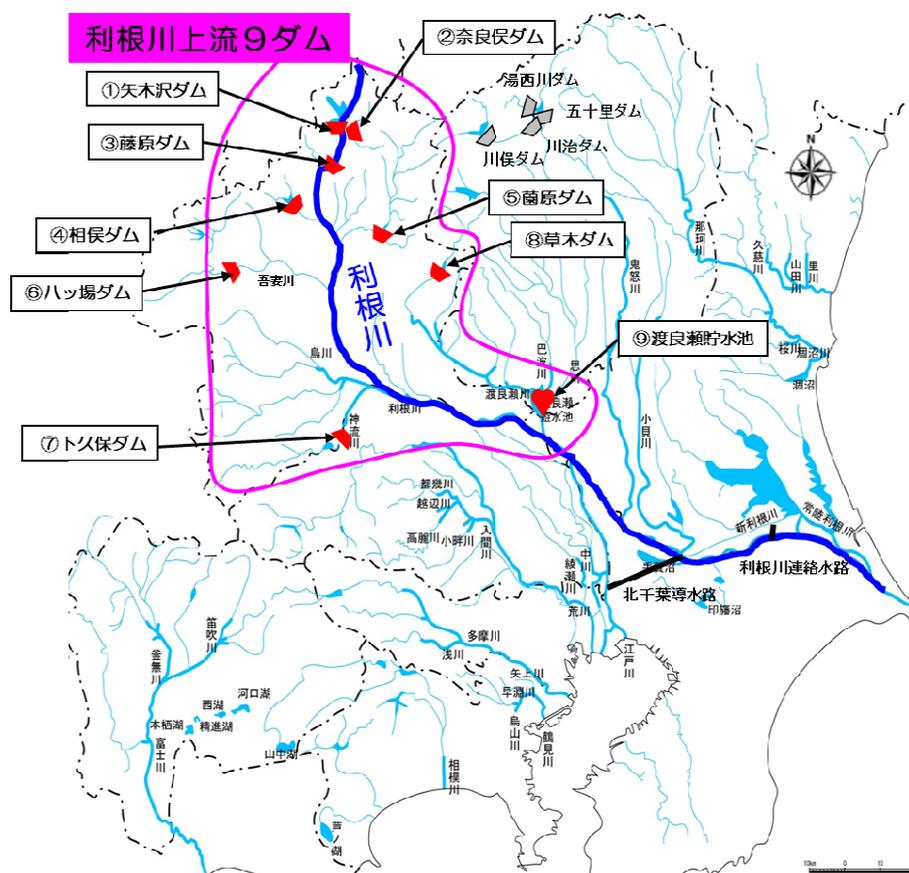
所長代理 野中 樹夫

草木ダム管理所 電話 0277-97-2131(代表)

所長代理 竹内 祐治

利根川上流9ダムの貯水量

ダム名	有効貯水容量	満水到達日	備考
① <small>やぎさわ</small> 矢木沢ダム	1億1,550万 m ³	3月17日	
② <small>ならまた</small> 奈良俣ダム	8,500万 m ³	3月11日	
③ <small>ふじわら</small> 藤原ダム	3,101万 m ³	3月18日	
④ <small>あいまた</small> 相俣ダム	2,000万 m ³	3月10日	
⑤ <small>そのはら</small> 蘆原ダム	1,322万 m ³	3月11日	
⑥ ハッ場ダム	9,000万 m ³	—	
⑦ 下久保ダム	1億2000万 m ³	3月31日	
⑧ <small>くさき</small> 草木ダム	5,050万 m ³	3月13日	
⑨ <small>わたらせちよすいち</small> 渡良瀬貯水池	2,640万 m ³	—	



利根川上流9ダム位置図

利根川ダム統管理事務所では、利根川上流ダム群の状況等について情報提供サービスを行っています。ご利用下さい。

○インターネットホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/>

ダム情報、ダム LIVE 情報、降水量・水位 LIVE 情報、雨量・流量・積雪情報

【参考資料：解説】

1. 利根川上流9ダムの貯水状況

平成31年・令和元年は春先の気温が低く融雪が遅れ、利根川上流8ダムのうち6ダム(矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、藪原、草木)が5月20日までに満水になりました。5月30日からは補給を開始しましたが、6月以降の雨量が平年より多く、各ダムとも満水に近い状態で推移しました。

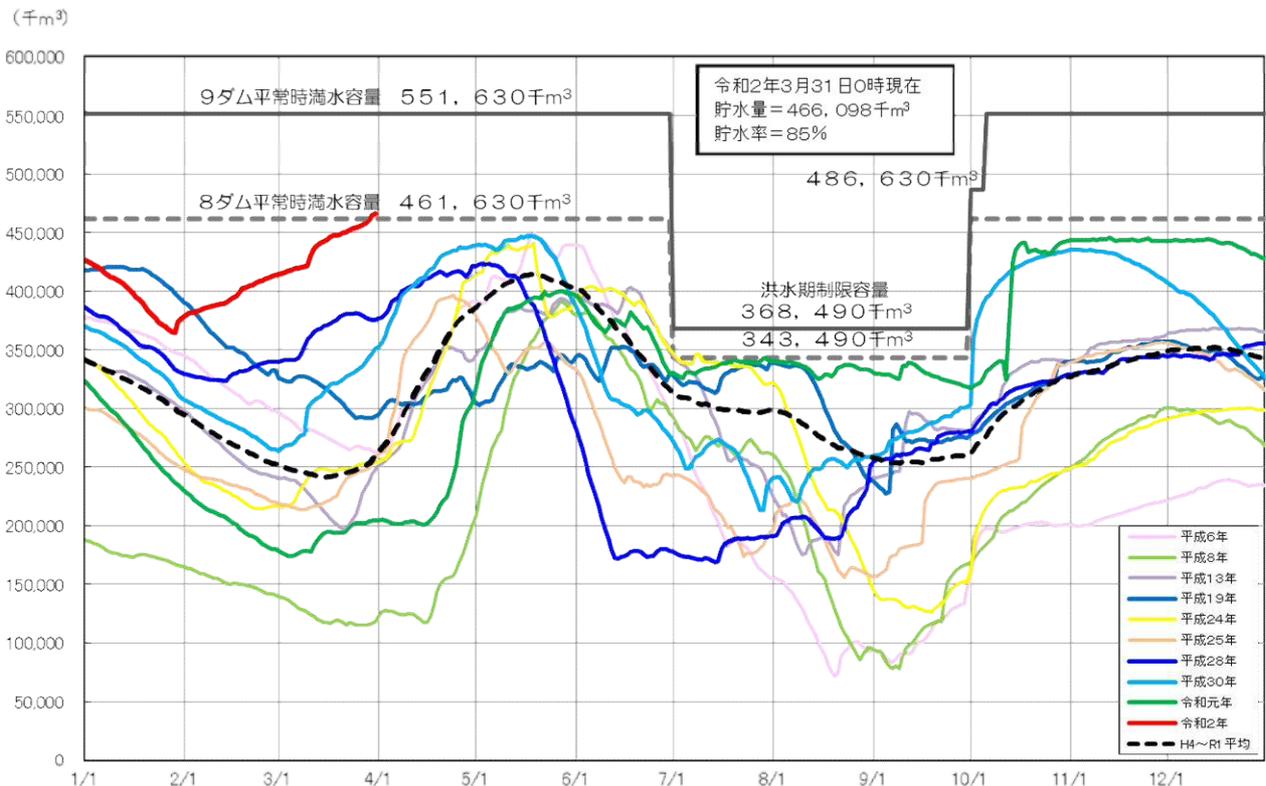
10月以降は台風19号や低気圧による大雨等のまとまった降雨で、渡良瀬貯水池を除き各ダムとも常時満水位付近で推移しました。その後は、12月12日から補給を開始し1月末に3億6,525万 m³に低下しました。

今冬の利根川上流域の暖冬・少雪を踏まえ、利根川下流部にある水利施設(北千葉導水路や利根川連絡水路等)と連携し上流ダム群は早期貯留に努め、7ダム(矢木沢・奈良俣・藤原・相俣・藪原・下久保・草木)が満水を迎えることができました。

今冬の記録的な暖冬・少雪のため水需要の多い時期の渇水に備え、利根川上流ダム群(9ダム)の効果を最大限に発揮するよう、引き続き関係機関と連携しきめ細かいダム運用をおこなって参ります。

ハツ場ダムは試験湛水を終了し、3月10日から貯留を開始しました。

図－1 利根川上流9ダム貯水量図

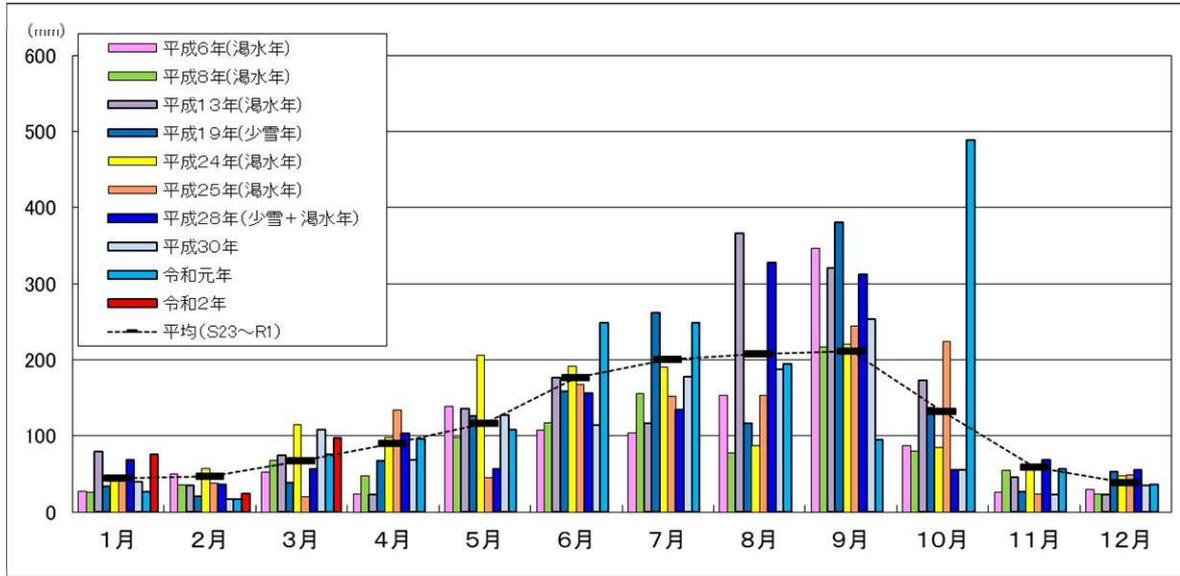


2. 利根川上流域の降水状況

平成31・令和元年の栗橋上流域における年間降水量は、10月の台風19号などの影響により平均を2割程度上回り1,690mm(平均の122%)でした。

令和2年1月の降水量は76mm(平均の173%)でしたが、2月は25mm(平均の53%)でした。

図－2 栗橋地点上流域平均降水量(月計)



表－1 栗橋地点上流域平均降水量(月計)

	(mm)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平均(S23~R1)	44	47	67	90	117	176	200	208	211	132	59	39	1,390
平成6年(渇水年)	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143
平均比(%)	61	106	78	26	119	61	52	74	164	66	44	74	82
平成8年(渇水年)	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999
平均比(%)	59	74	101	52	84	66	78	38	103	61	93	59	72
平成13年(渇水年)	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569
平均比(%)	180	74	112	26	116	100	58	176	152	131	78	59	113
平成19年(少雪年)	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420
平均比(%)	77	45	57	74	108	90	131	56	180	104	46	136	102
平成24年(渇水年)	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395
平均比(%)	97	121	171	109	176	109	95	42	105	64	93	121	100
平成25年(渇水年)	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294
平均比(%)	98	81	30	149	39	95	76	74	116	170	40	123	93
平成28年(少雪+渇水年)	68	36	57	103	56	156	134	328	312	55	69	55	1,429
平均比(%)	155	76	85	114	48	89	67	158	148	42	117	141	103
平成30年	39	17	108	69	128	114	178	187	254	56	23	35	1,205
平均比(%)	89	36	161	76	109	65	89	90	120	42	38	89	87
令和元年	26	17	75	96	108	248	249	195	95	489	56	36	1,690
平均比(%)	59	36	112	107	92	141	125	94	45	370	95	93	122
令和2年	76	25	97										198
平均比(%)	173	53	145										14

利根川取水制限実施月(一時緩和含む)
数値は令和2年3月30日迄の速報値

3. 利根川上流域の積雪状況

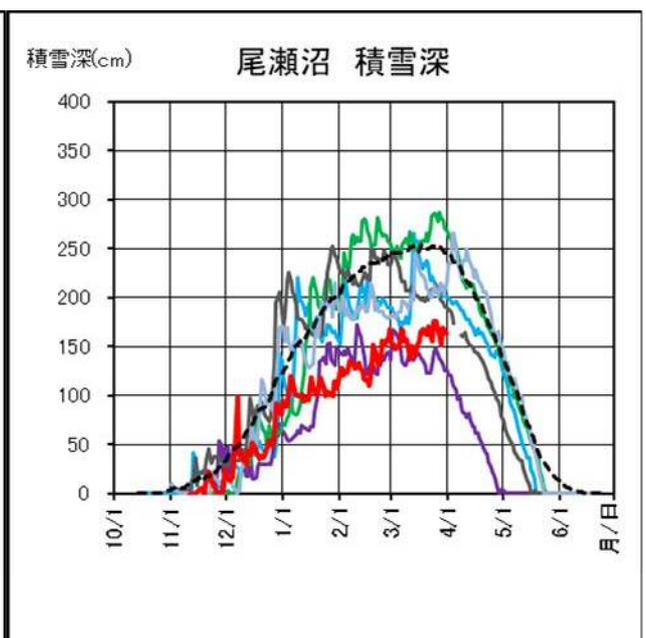
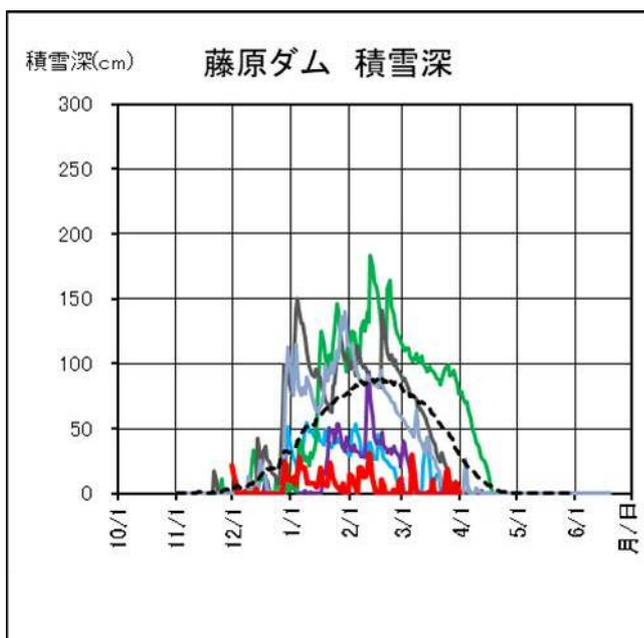
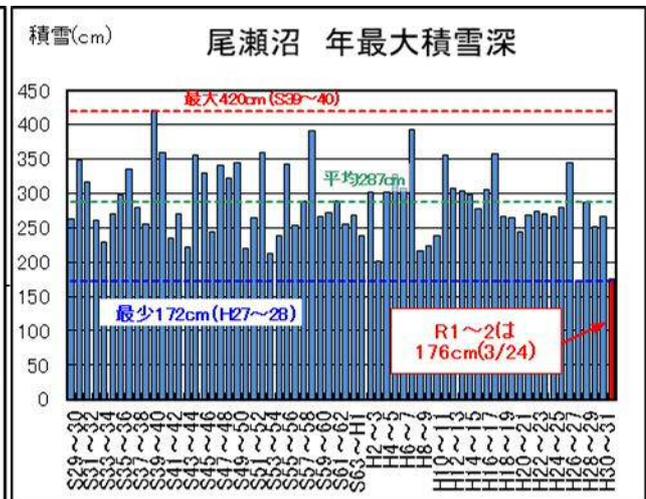
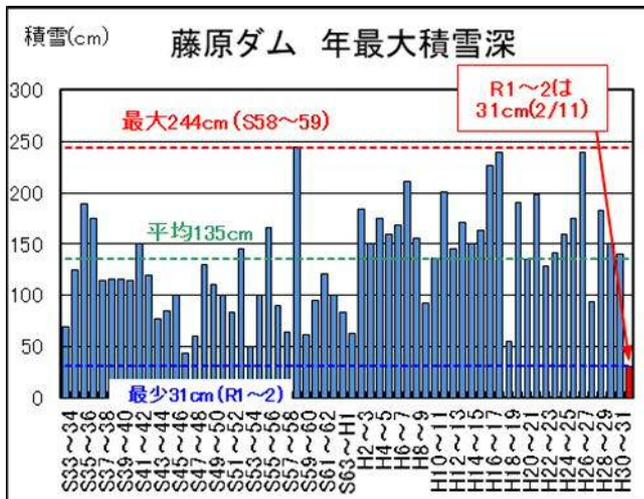
積雪状況

令和2年冬期の推積雪状況は記録的な暖冬・少雪で、3月31日9時時点の積雪深は藤原ダム0cm、尾瀬沼163cmとなっており、藤原ダム、尾瀬沼とも平均を下回っています。

今期の最大積雪深は藤原ダム地点で31cm(2月11日 ※ 昨期は1月29日に140cm)、尾瀬沼地点で176cm(3月24日 ※ 昨期は4月3日に266cm)となっています。

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深表

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深
藤原ダム (標高667m)	令和2年3月31日9時現在	0cm	31cm(2月11日)
	S34~H31の3月第6半旬末平均値	30cm	
尾瀬沼 (標高1666m)	令和2年3月31日9時現在	163cm	176cm(3月24日)
	S30~H31の3月第6半旬末平均値	245cm	



4. 利根川上流9ダムの状況写真（撮影日：令和2年3月10日～3月26日）

① 矢木沢ダム(3月17日)



② 奈良俣ダム(3月11日)



③ 藤原ダム(3月18日)



④ 相俣ダム(3月10日)



⑤ 菌原ダム(3月11日)



⑥ ハツ場ダム(3月26日)



⑦ 草木ダム(3月13日)



⑧ 下久保ダム(3月25日)



⑨ 渡良瀬遊水池(3月24日)

